

# 環境適合設計からCSR適合設計へ

環境にやさしい設計から、策定したユニバーサルデザイン指針を踏まえて、環境にやさしく、より使いやすい設計への拡張を追求していきます。

## 環境適合設計から CSR適合設計への拡張

カシオでは1993年より環境適合設計を、2001年よりグリーン商品開発ガイドラインによるタイプⅡ環境ラベル商品開発を行ってまいりました。

さらに2005年より、新たにCSR適合設計の取組みとして 環境適合設計とユニバーサルデザイン設計を体系化し、組合せる事で「環境に優しく、人にも優しい」新たな商品群の開発をデザインセンターと共に検討してまいりました。すでに、「ユニバーサルデザイン指針」を策定し、「使いやすさ」の向上を目指し、電子辞書、電子楽器における評価を実施しています。

### CSR適合設計ガイドライン

グリーン商品開発  
ガイドライン

+

ユニバーサルデザイン  
設計ガイドライン(策定中)

## カシオ ユニバーサルデザイン指針

1. 理解しやすい表示表現
2. 簡単でわかりやすい操作性
3. 身体的、心理的負荷の軽減
4. 安全と安心の提供
5. 製品価値の追求

## ユニバーサルデザインの活動

### 使いやすさへの取り組み

カシオでは「小型・軽量・薄型・省電力」を独自のコア・コンピタンスとし、環境負荷の少ない商品の開発を行っております。さらに、これからの社会環境においては、製品の小型化や高性能化に加え、電子機器に不慣れな方やITが苦手な方にも快適に使用していただくための「使いやすさ」を両立させ、お客様の暮らしの中で本当に役立つ商品やサービスを提供していくことが重要なテーマだと考えています。

カシオではユニバーサルデザイン活動の目的を「使いやすさの品質向上」と定め、ISO13407\*のプロセスに則った人間中心設計(HCD:ヒューマンセンタードデザイン)による商品開発に取り組んでおり、製品本体はもとより、パッケージ、取扱説明書の改善に展開しています。

\*ISO13407:コンピューターを応用したインタラクティブシステムの開発において取り入れるべき、人間を中心とした設計指針を規定した国際規格

### お客様の視点に立って

人間中心設計の推進にあたっては、実際に商品をご利用いただくお客様にご評価いただき、その結果を商品開発に反映していくことが必須項目です。

カシオでは、開発に携わる担当者自らがお客様の声を聞き、お客様の視点に立った商品開発を行うことを最重要課題とし、ユーザーテストでの評価や、お客様相談センターに寄せられるご意見をもとに「使いやすさ」の改善を行っています。

2005年度においては、特定の商品について高校生や主婦、お年寄りといった幅広いお客様にご協力いただき、製品の操作性やデザインに関するユーザーテストを行いました。テスト結果を解析して、企画、開発、デザインの各専門部署からなる横断的組織によってハード・ソフト両面から、「使いやすさ」を向上させるための具体的な改善を行いました。



独自のUD活動シンボルマーク

### これからの取り組み

今年度は、グループ企業全体でのユニバーサルデザイン活動の方針共有化のために、「カシオユニバーサルデザイン指針」をすでに策定しました。

さらに今後は「人間中心設計ガイドライン」の整備を進め、一層幅広い事業分野において、指針及びガイドラインに基づいた商品開発に取り組み「使いやすさの品質」を追求していきます。



ユーザーテストの様子

## ユニバーサルデザイン(UD)プロセスの基本サイクル

